

令和6年第12回教育委員会議事録

開催日時 令和6年12月24日(火)
午前9時30分～午前10時40分

場所 八潮市役所 会議室4-2

出席者 教育長職務代理者 加藤正道
委員 木下史江
委員 高橋洋一
委員 橋本珠美

事務局出席者 教育部長 千葉靖志
教育部理事 猪原誠一
教育部副部長 小林勝巳
教育部参事兼文化財保護課長

高山治
山内修
松本啓介
柳町貴栄
古川剛
倉林昌也
和田進
関根郁也

○ 開会の言葉及びあいさつ 加藤教育長職務代理者

会議事項

1. 会議録の承認について

(1) 令和6年第1回教育委員会定例会分

【出席教育委員全員が承認】

2. 教育長諸報告について [別紙のとおり]

3. 議題

議案第51号 [説明者 松本教育総務課長]

八潮市教育委員会公印規程の一部を改正する訓令について

八潮市教育委員会公印規程(昭和59年教委訓令第1号)の一部を別紙のとおり改正したいので、議決を求める。

令和6年12月24日提出

八潮市教育委員会教育長 井上正人

提案理由 教育委員会の公印に係る規定の整理を図るため、この案を提出するものである。

【資料説明】

[質疑]

なし

[教育長職務代理者が採決を行い、出席委員全員の賛成により承認される。]

4. 各部課長報告・連絡事項

●千葉教育部長

(1) 令和6年第4回八潮市議会定例会一般質問について

金子議員から「地域に根ざした小学校づくりについて」との質問事項をいただきました。この中で、新設小学校についての質問を3点いただきました。

1点目は「対象児童の保護者に対する説明会と転校手続きについて」です。

これに対し、説明会については、準備が整い次第開催時期等を決定し、速やかに周知を図っていく旨を答弁しました。転校手続きについては、特に必要がない旨を答弁しました。

2点目は「学校運営協議会の設置と学校経営計画の作成について」です。

これに対し、学校運営協議会の設置については、速やかに設置する旨を答弁しました。学校経営計画の作成については、協議会の設置と併せて準備を進めていく旨を答弁しました。

3点目は「地域と連携した学校運営ボランティアの募集について」です。

これに対し、今後検討していく旨を答弁しました。

(2) 令和6年11月分「市民の声ボックス」の受付及び処理状況について
教育総務課で1件でした。担当課長から説明します。

●松本教育総務課長

投書の内容は、「市内学校の室外機の騒音、低周波音被害に数年往生を申し立てているが、一向に原状回復されず、本質的な対処をしてもらいたい」というものでした。

この件については、業務の参考として対応しています。匿名での投稿で、連絡先の記載がないことから、詳細な状況の確認やご説明ができない状況です。

学校の空調設備については、適切な温度設定等について各校にお願いしているところですが、今後も空調設備の運用について各校との連絡を密にしていきたいと考えています。

●猪原教育部理事

(1) 令和6年第4回八潮市議会定例会一般質問について
9人の議員から13件の質問事項をいただきました。

小宮議員からは「八潮市学校適正配置指針・計画について」との質問事項をいただきました。この中で、北部地区の個別計画策定についての質問を4点いただきました。

これに対し、小規模特認校の現状と今後について答弁しました。また、今後は八潮市学校適正配置指針・計画策定委員会において検討していくことを答弁しました。

同じく小宮議員から「学校給食について」との質問事項をいただきました。この中で、学校給食審議会や現在提供されている給食についての質問をいただきました。

これに対し、審議会の内容や進め方、委員の状況等について答弁しました。また、給食の内容について説明し、特に衛生管理の徹底や、食育の充実を図っていることを答弁しました。

朝田議員からは「『全国学力・学習状況調査』について」との質問事項をいただきました。この中で、今年度の調査結果についての質問をいただきました。

これに対し、過去最高の成績だったことを答弁しました。併せて、中学校の結果に現れている課題の解決について答弁しました。

大泉議員からは「新たな学校給食設備のリスク分散と美味しい給食の実現について」との質問事項をいただきました。

これに対し、学校給食審議会の現在の状況と今後の進め方について答弁しました。

大島議員からは「学校給食について」との質問事項をいただきました。この中で、学校給食審議会の委員の選定方法や、自校式の良い部分ができる限り取り入れる学校給食について質問をいただきました。

これに対し、委員の選定区分等について答弁しました。また、自校式の良い部分について説明し、それを踏まえながら、給食センター設置について進めていくことを答弁しました。

寺原議員からは「児童生徒の学力向上および体力向上について」との質問事項をいただきました。この中で、学力と体力の現状と、今後の目標と課題について質問をいただきました。

これに対し、全国及び埼玉県の学力・学習状況調査の結果を報告するとともに、新体力テストの結果を報告しました。また、これらの結果に現れている課題の解決ための具体的な方法を答弁しました。

同じく寺原議員から「学校給食について」との質問事項をいただきました。この中で、学校給食の現状について質問をいただきました。

これに対し、美味しい給食にするための工夫や衛生管理の実態、食育の充実について答弁しました。

小倉議員からは「子どもたちのためにより良い教育環境を目指して」との質問事項をいただきました。この中で、学校給食費の現金集金の見直し、学童保育所の出席確認の職責の所在、小規模特認校の今後について、本市における経験豊富な教員の定着のための対策、給食の実態把握のための市役所等への給食の提供について質問いただきました。

これに対し、学校給食費の現金集金については、高い収納率を確保できていることから、現状を維持していきたい旨を答弁しました。学童保育所の出席確認については、現状は先生方に手伝ってもらっており、学校に来てから家に帰るまでが学校の管理下と捉えると、そのような対応が必要である旨を答弁しました。小規模特認校の今後については、八潮市学校適正配置指針・計画の内容を答弁しました。経験豊富な教員の定着については、教育委員会として働きやすい職場を作っていく旨を答弁しました。市役所等への給食の提供については、市の出前講座で給食の試食ができるメニューがあることや、給食は子供たちのためのものである旨を答弁しました。

荒川議員からは「不登校児童生徒の健康診断受診に対する環境整備について」との質問事項をいただきました。この中で、不登校の子どもたちが学校で健康診断を受けることができなかった場合、別の場所で受けることができないかとの質問をいただきました。

これに対し、本市では、相談室に通っていたりする子どもについては、他の学年の時間帯に受けたり、事前に個別に電話連絡したりすることで、極力学校での

健康診断に参加できるように対応している旨を答弁しました。また、市内の病院での健康診断については、難しい状況である旨を答弁しました。

川井議員からは「北部の小中学校について」との質問事項をいただきました。この中で、八條中学校と八條北小学校の複式学級、統廃合の可能性について質問をいただきました。

これに対し、八潮市学校適正配置指針・計画策定委員会での検討の進捗状況等を答弁しました。

池谷議員からは「いわゆる『朝の小1の壁』問題について」との質問事項をいただきました。この中で、他市で実施している見守りスタッフについて質問をいただきました。

これに対し、各学校の実態について説明し、現在のところ保護者等からの要望はない旨を答弁しました。

同じく池谷議員から「母国語が日本語でない児童生徒に対する教育保障について」との質問事項をいただきました。この中で、本市の日本語指導について質問をいただきました。

これに対し、本市では加配教員が日本語指導専門で入っており、その指導内容や指導を受けた子供たちの様子等について答弁しました。

同じく池谷議員から「学校給食費の無償化について」との質問事項をいただきました。この中で、多子世帯の給食費軽減について質問をいただきました。

これに対し、国の重点支援地方交付金の活用や、現状の市の補助について答弁しました。併せて、市長からは、食材費は保護者負担であることや、今後もより良い給食を目指していく旨の答弁がありました。

(2) 市内小中学校の様子について

インフルエンザが流行しており、先週は大瀬小学校、大原中学校で学級閉鎖や学年閉鎖が発生しました。本日の終業式も、八條小学校の6年生が学年閉鎖になっています。その他、体調不良者が多いため終業式をリモートで実施している学校や、教職員がインフルエンザ等で休んでいる学校も散見されています。

また、冬季休業を迎えるにあたって、子供たちへの指導については、一番は自分の命を大切にすることである旨を各学校から話を聞いていただいています。

先生方においては、今年度は県全体で教職員の交通事故が多いということなので、素行を注意していただくよう、校長会で話をしたところです。併せて、年間の長期休業の中で、最もしっかりと休めるのは冬季休業ですので、少しでもリフレッシュして家族や自分自身のことを大事にしていただくよう、校長先生方からの声かけをお願いしたところです。

最後に、令和6年が終わるにあたって、学務課と小中一貫教育指導課の年間の大まかな総括をお伝えします。

給食事業については、完成した給食ビジョンに基づき、学校給食審議会を中心進めているところです。同時に、食育や徹底した衛生管理について気を抜かず進めているところです。

小中一貫教育については、様々な推進部会を中心に、ボトムアップの形式で授業を焦点化して、各学校1人1人の先生方を支援してきました。その結果、様々な調査で過去最高の数値が出ています。これに満足せずに引き続き進めたいと考えています。

働き方改革については、各学校において、超過80時間以上を絶対に無くすことに取り組んでいます。

部活動の地域移行については、新聞等でも話題になっているところですが、教職員アンケートを実施し、いくつかの種目で先行実施できないか、校長先生方を中心に検討しているところです。

小規模特認校制度については、令和7年度当初の申込みが既に終了しており八條北小学校に入学する方が2人、八條中学校に入学する方が1人と報告を受けたところです。

問題行動や不登校については、SNSを通した事件、事故が、非常に多くなっています。学校においても機会を捉えて様々な指導をしているところですが、なかなか減っていない状況です。学校ではスマートフォンの持込みを禁止して

いるため、家庭生活の影響が非常に大きいと考えられますので、学校だよりや保護者会等によって保護者の協力を仰ぎながら、子供たちが犯罪に巻き込まれることがないように努めていきたいと考えています。

●松本教育総務課長

(1) 令和7年度定例教育委員会の開催予定(案)について

令和7年度の教育委員会は4月22日の第4回から、令和8年3月24日の第3回までを予定しています。会場については、市役所の会議室3－4又は4－2のいずれかを予定していますが、都合により日時・会場が変更になる場合がありますので、その際は改めてお知らせします。

このスケジュールについて確認していただき、都合の悪い日程がありましたら、1月10日金曜日までに事務局に連絡してください。特に不都合のない場合は連絡不要です。

(2) 八潮市GIGAスクール通信（第48号・第49号）について

第48号では、1人1台端末の学習だけではなく校務での活用例について取り上げています。八幡中学校での活用例として、研究授業においてGIGA端末を利用して、教職員間でリアルタイムに情報共有している例や、松之木小学校においては資料整理の場としても活用されている例をとりあげています。

また、NEXTGIGAに向けての管理職研修会として、文部科学省の学校DXアドバイザーである平井聰一郎様の講演の様子を取り上げています。

当日は、私も講演を拝聴しましたが、教育現場におけるGIGA端末の活用を念頭に、写真にもあるとおり、先生方もそれぞれ立ち上がって熱心に意見交換や議論を行う状況となり、非常に刺激的な研修となった様子でした。

第49号では、11月22日に実施した、ICTを活用した八幡中学校数学科の大山先生の公開授業の様子を取り上げています。

今年度、ICT部会では、1人1台端末を使用して、子どもたち一人ひとりが課題を決め、計画を立てて学んでいく単元内自由進度学習の取組みに向けた研究を進めており、大山先生の授業では、京都教育大学の大久保紀一朗様をお迎え

し、授業の講評と指導をいただき、また、授業を観覧した先生方の間でも活発な意見交換が行われました。

この自由進度学習では、自身の学習の進捗状況を1つの表で管理しており、分からぬことがあつたら先に進んでいる友達を確認して教えてもらうなど、これまでの授業の形式とは明らかに異なる授業の方向性を示唆するものとなっていました。

ICTとの親和性も高く、今年度ICT部会で取り組んでいるものですが、今後も先生方のご協力、ご理解のもと、よりICT教育の裾野を広げる取組みを進めたいと考えています。

●柳町新設小学校準備室長

12月1日の起工式に出席いただいたことについてお礼申し上げます。

その後、現地では仮囲いが設置され、少しずつ動いている状況です。来年1月には現場事務所が立ち上がる予定で、2月以降には杭工事等の本格的な工事が始まる予定です。

地域住民の皆様にはご迷惑をおかけすることと存じますが、ご協力をいただきながら着実に工事を進めていきたいと考えていますので、よろしくお願ひします。

●倉林社会教育課長

(1) 令和7年成人式概要について

今年度は令和7年1月13日の成人の日に、令和7年八潮市成人式を開催します。本年も例年どおり、成人式実行委員会を組織し、成人式の企画・運営に参加していただいたところです。

本年の成人式の対象者は、平成16年4月2日から平成17年4月1日までに生まれた方で、令和6年12月1日時点で案内状を発送した対象者数は、市内在住の男性が437人、女性が382人の合計819人、市外在住で八潮市の成人式に出席したいと申し出があり案内状を発送した方が男性14人、女性14

人の28人で、合計で男性451人、女性396人、総数が847人となっています。

式典については、八潮メセナのホールを会場に、中学校区ごとに第1部を八潮中学校区、大原中学校区、第2部を八條中学校区、八幡中学校区、潮止中学校区の2部制により開催します。

また、今年度は新成人の中学校時代の恩師から直接メッセージをいただくとともに、当日欠席の方のビデオレターを放映する予定となっています。

●高山教育部参事兼文化財保護課長

(1) 第98回歴史講座「古民家○○大作戦」の実施結果について

11月23日土曜日に開催した歴史講座「古民家○○大作戦」では、小学生8人、保護者7人、一般1人の計16人の参加がありました。

講座では、講師に芝浦工業大学建築士・建築保存研究室の小柏准教授と学生5人をお招きし、日本家屋の構造や特徴、製図方法などについて解説いただいた後、製図体験と先人の生活の知恵を学ぶ障子の張り替えやぬか袋を使った柱や床の掃除を体験しました。

講座終了後のアンケートも概ね好評で、参加した児童にとっては、実際に製図することで伝統的日本家屋について理解を深めたとともに、障子の張り替えや清掃を通じて先人の暮らしぶりに想いを馳せるよい機会となったものと考えています。

(2) 体験講座「わらで亀をつくる」の実施結果について

12月7日に開催した体験講座「わらで亀をつくる」では、正月行事にかかせない正月飾りの製作体験を行いました。

本講座は、本市と包括連携協定を締結する淑徳大学の学生が企画し、当日の講座運営も学生が主体となり実施しました。

学生たちが、正月行事の起源や変遷について調べた成果を参加者の前で発表した後、外部講師指導のもと藁で縁起物の「亀」を作りました。

当日の参加者は大人16人、子ども3人の計19人で、わが国の長い歴史の中で少しづつ変化してきた正月行事の歴史を学べる良い機会としていただけたものと考えています。

●山内教育部副部長兼学務課長

(1) 八潮市学校適正配置指針・計画の策定について

学務課では、現在、学校適正配置指針・計画の策定に取り組んでおり、特に、全体の計画に先立って、北部地区の個別計画の策定に先行して取り組んでいるところです。

特徴的なのは、北部地区の学校に通う児童生徒数の将来の予測において、かなり深刻な状況が見えてきたことが挙げられます。特に、八條北小学校においては、今後、それほど遠くない将来に、複数の学年が1つのクラスで学ぶ複式学級になってしまふ可能性が高いとの推計結果が出ています。

こういったことを踏まえ、北部地区の学校として、「八條小学校」「八條北小学校」「八條中学校」の3校を対象に、今後の学校のあり方について、「北部地区個別計画」として策定するものです。

そして、この3校の通学区域である11の町会自治会とそれぞれの学校運営協議会、保護者に対して、説明を行ったところです。現在、いただいた意見等を取りまとめていますので、次回の定例会で説明できるものと考えています。

(2) 学校給食について

資料をご覧ください。

表面は小学校の4月から11月までの収納額、未納額、収納率の一覧です。収納率は99.86%です。

裏面は中学校の一覧です。収納率は99.19%です。右下が今年度11月までの小中学校を合算したまとめで、収納率は99.64%、未納額は674,053円です。

収納状況については、現在のところ、概ね順調に進んでいるところです。

2学期の学校給食は12月20日が最終日でした。3学期の学校給食の開始日は1月10日です。

●和田小中一貫教育指導課長

(1) 令和6年11・12月の事件・事故報告について

合計14件で、内訳は、地域等への迷惑行為が4件、不審者情報が3件、交通事故が3件、虐待疑いが2件、窃盗が1件、暴力行為が1件でした。

交通事故については、2件が車との接触、1件が自転車同士の接触でしたが、いずれも打撲や擦り傷程度の怪我ということでした。

窃盗については、三郷市の商業施設において、カードゲームのカードを盗んでしまったというものです。

市内中学校では、やや落ち着きのない部分も見られるところですので、今後、学校、警察と必要に応じて連携をとりながら、対応を進めていきたいと考えています。

(2) 令和6年度八潮市学習塾との連携事業“8ゼミ”について

今年度の年明けの2月から3月にかけて、各小学校を会場とした学習塾との連携事業を実施する予定です。先日、プロポーザル方式による業者選定を行い、株式会社トライグループにお願いすることとなりました。

また、例年、中学校の先生方に講師をお願いして、年明けに入試対策の講座を開催してきましたが、働き方改革を踏まえ、これについても今年度から学習塾トライの講師の方にお願いする方向で進めています。

現在、準備を進めているところで、実施後、その様子を報告したいと考えています。

[教育長諸報告及び部課長報告・連絡事項の一括質疑]

○木下委員

今回のGIGAスクール通信で取り上げている八幡中学校で行われた学習を、八潮市全体の中学校にどのように広げていくのか教えてください。

●和田小中一貫教育指導課長

小中一貫教育推進検討会のＩＣＴ部会で、今年度のテーマの1つとして、単元内自由進度学習についての研究を深めるということを設定し、八幡中学校の他にも、いくつかの小中学校で実施しているところです。

いくつかの難しい点も見出されたところですが、大きな可能性を秘めた、効果もすごく表れている取組みでしたので、この後、ＩＣＴ部会の中で共有するとともに、校長会、教頭会でも成果を紹介していきたいと考えています。

○橋本委員

学習塾との連携事業について、教員の働き方改革を念頭に進めるということでしたが、これと並行して土曜日のジョイスタも継続すると考えてよいのでしょうか。

●和田小中一貫教育指導課長

ジョイスタについては、以前は学校の先生にお願いして色々な講座を実施していました。ここ数年は働き方改革ということで、例えば英検対策ではＡＬＴの派遣会社にお願いして講座を実施しています。また、特別授業講座では、例えば理科の実験教室に企業から講師を派遣してもらい、機材等を持ち込んでもらつて実施しています。今後も継続していきます。

○木下委員

先日の小中一貫教育八潮中学校ブロック研究発表会で、潮止小学校の英語の授業を見ましたが、内容が素晴らしい授業でした。その後の分科会にも参加し、その授業に入っていた2人の大学の先生の話も聞きました。授業方法について独自の考え方があり、大変驚かされる内容でした。この話は是非、市内の小中学校の先生方にも共有してもらって、今後の八潮市の英語の授業に活かしてもらいたいです。

●和田小中一貫教育指導課長

今後の参考とさせていただきます。

また、八潮市の英語教育の現状、進捗を説明します。英語の授業はここ数年で

大きく変わっているところで、以前と違うところとしては、目的、場面、状況を設定して、英語の学習に取り組んでいます。単に日本語を与えられて、それを英語で話す、書くというのではなく、例えば中学生であれば、小学生に対して中学校の部活動を紹介するといった場面を設定して、自分が伝えたいことを伝えるという形で学習しています。現在、このような授業方法を浸透させている最中です。

また、県の英語の授業の研修があり、八潮市からは、中学校の先生が毎年3人程度参加しています。そこで新しい授業作りを学んでいただいて、学校に持ち帰っていただこうということを数年続けているところです。今後は、英語の先生方の集まりの場で、研修で学んだことを共有できるような仕組み作りを進めていきたいと考えています。

○橋本委員

SNSの利用の指導について話がありましたが、12月5日に潮止中学校で開催された合同学校保健委員会で、SNSやスマートフォンの使い方についての講座があり、参加しました。この中で、子供たち、保護者、有識者によるグループディスカッションがあり、子供たちのスマートフォンの使い方等について意見を聞くことができました。

学校の授業でわからないことがある時に、SNSを利用して友達同士で教え合っているといった、子供たちの具体的なスマートフォンの使い方も聞くことができました。子供たちは、必要な時にスマートフォンを使う一方で、間違った使い方をしてはいけないという意識もしっかりと持っていました。

今後、スマートフォンの使い方については、子供たちの意見と保護者の意見を吸い上げて、上手く折り合いを付けていくことが重要だと思いますので、他のブロックでも同様の講座等を開催してもらいたいと思います。

教育委員会としては、今回の講座について、アンケート等によって先生方の意見を聞いたりはしているのでしょうか。

●猪原教育部理事

5つのブロックでそれぞれ合同学校保健委員会を開催しており、テーマはブロックの中で決めています。教育委員会に内容の報告等はありません。今回の講座については、大変参考になる内容であったとのことでしたので、この後、詳細を聞き取りします。

●和田小中一貫教育指導課長

スマートフォンの使い方については、学校がルールを決めて、ただそれを守りなさい、という指導は難しい状況です。このため、八潮市では令和4年以降、「スマホ利用のルール作り活動」、つまり、子供たち自身がスマホ利用のルールを作ったり、なぜルールが必要なのかを考えたりする活動に取り組むことにより、自ら進んでルールを守ろうとする態度を養うことを各学校にお願いしているところです。取組み状況については、機会を捉えて各学校に確認します。

○加藤教育長職務代理者

8ゼミについて、定員が300人ということですが、八潮市全体の小学校5年生の人数を教えてください。

また、昨年度の参加人数は定員を超えたのか、下回ったのか教えてください。

●和田小中一貫教育指導課長

八潮市の小学校5年生は4月1日時点で668人です。毎年およそ700人弱です。

昨年度の参加人数については資料が手元にありませんが、300人を上回る年も少なくありません。その都度、学習塾と相談し受け入れもらっています。

○加藤教育長職務代理者

新設小学校の建設がこれから進んでいくと思いますが、トラックの出入りによる事故が心配です。例えば、中学校が隣接していますが、トラックの動線と通学路を分けるといった対応は考えているのでしょうか。

●柳町新設小学校準備室長

住民説明会においても同様の質問があり、車両の出入りは基本的には通学時間より早い時間とすることを徹底させる旨を説明しました。

また、通学時間にどうしても車両が入る場合には、周辺だけではなく、その経路上に誘導員を多く配置する旨を説明しました。

まずは来年の1月から2月頃に杭工事があり、大きな車両が入ってきますので、対応を徹底したいと考えています。

[教育長職務代理者が定例会閉会の宣言をする]
会議終了。